

たつの市 地球温暖化対策 実行計画（区域施策編）

概要版

2025年3月 たつの市



計画の目的

本計画は、市民・事業者・市（行政）がそれぞれの役割と責任を持って温室効果ガスの削減と気候変動への適応に取り組むとともに、各主体が連携・協力した取組を進めることにより、ゼロカーボンシティの実現を目指していくものです。

基準年度と目標年度

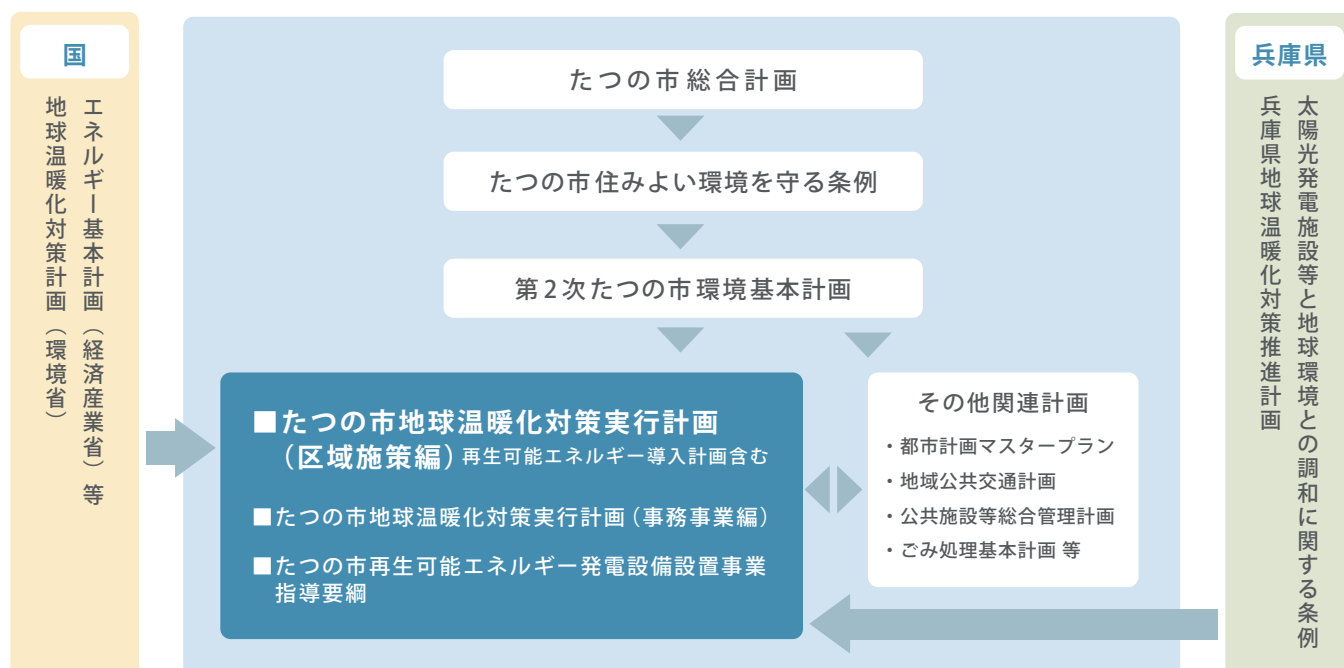
本計画は、「地球温暖化対策計画」に基づき、2013年度を基準年度とし、中期の目標年度を2030年度、長期の目標年度を2050年度とします。

計画の期間

本計画の期間は、2025年度から2030年度までの6年間とします。今後の本市における温室効果ガス排出状況等を踏まえながら、国の動向や社会情勢の変化、エネルギー事情等に大きな変化があった場合は、適宜見直しを行います。なお、本市の将来的な脱炭素社会の実現に向け、2050年度を目標年度とした長期的な目標を設定します。

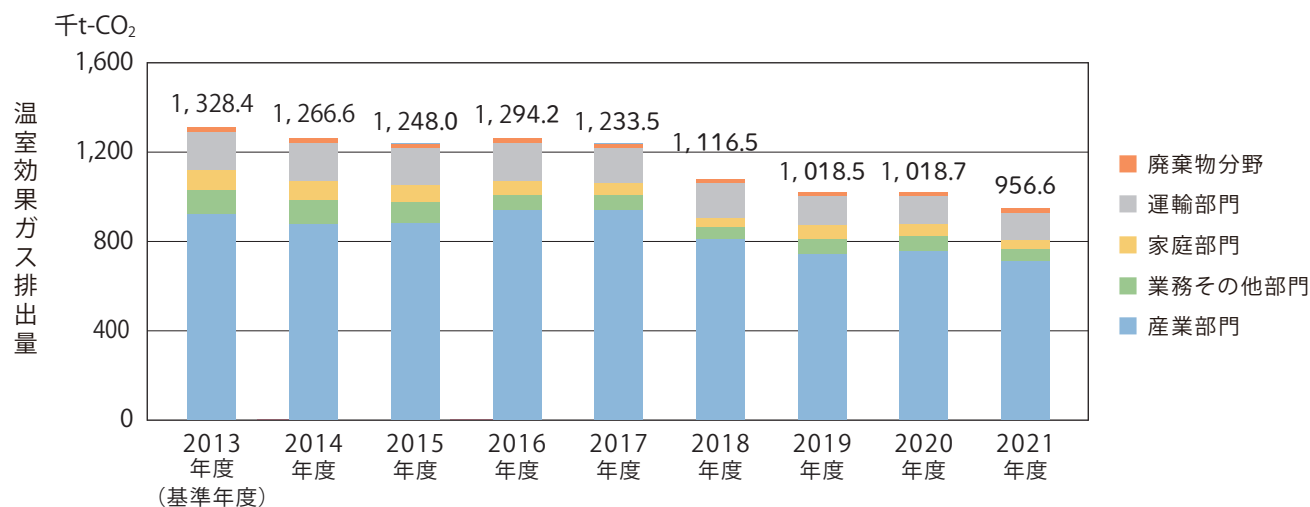
計画の位置づけ

本計画は、「地球温暖化対策推進法」第21条に基づく「地方公共団体実行計画（区域施策編）」であり、本市における地球温暖化対策に係る総合的な計画です。



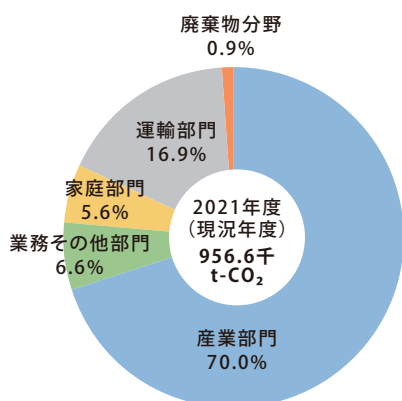
温室効果ガス総排出量の推移

本市の温室効果ガス排出量は、2013年度以降、減少傾向にあります。排出量が推計できる2021年度は約957千t-CO₂であり、2013年度の約1,328千t-CO₂と比べて28.0%減少しています。



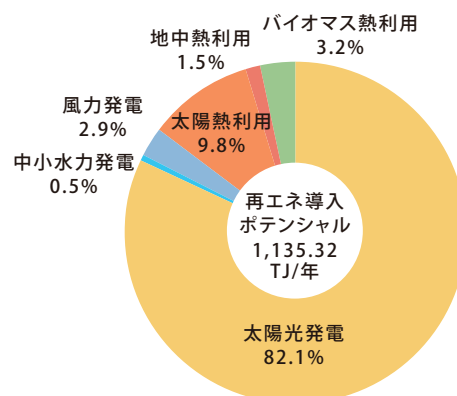
部門・分野別 温室効果ガス排出量の割合

2021年度の部門・分野別温室効果ガス排出量の割合は、産業部門が70.0%、運輸部門が16.9%、業務その他部門が6.6%、家庭部門が5.6%、廃棄物分野が0.9%となっています。



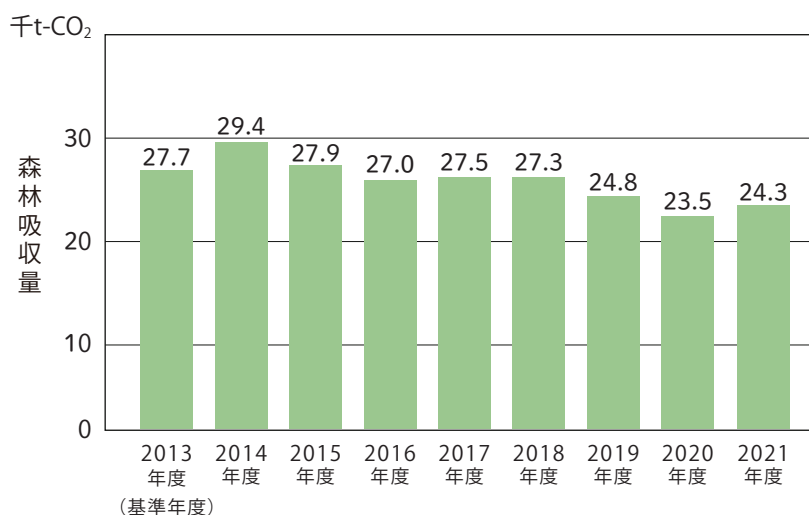
再生可能エネルギー 導入ポテンシャル

本市の住宅、事業所、公共施設等における再生可能エネルギーの利用可能量は約1,135TJとなります。全体の約82%を占める太陽光発電を主軸に再生可能エネルギーを導入することが有効です。



森林吸収量

森林(植物)は成長する過程でCO₂を吸収することから、地球温暖化対策の手法の一つとして注目されています。本市の森林による温室効果ガス吸収量は、2013年度は27.7千t-CO₂、2021年度は24.3千t-CO₂となっています。この吸収量は温室効果ガス総排出量の約2.5%に値する結果となります。



温室効果ガス削減目標

ZERO
CARBON

2030年度
までに

温室効果ガスを
48%削減

※2013年度比

2050年度
までに

**カーボン
ニュートラル
達成**

2050年カーボンニュートラル(二酸化炭素排出実質ゼロ)をめざす中で、2030年度における温室効果ガス実質排出量は、2013年度の1,301千t-CO₂に対して680千t-CO₂(48%削減)とします。

部門別温室効果ガス削減目標は、2030年度において2013年度比、産業部門では43%、業務その他部門では60%、家庭部門では70%、運輸部門では50%削減し、廃棄物部門については、9%の増加に留めることとします。

部 門	温室効果ガス排出量【千 t-CO ₂ 】					
	2013 年度 (基準年度)	2021 年度 (現況年度)	基準年度比 削減率	2030 年度 (目標年度)	基準年度比 削減量	基準年度比 削減率
産業部門	920.8	669.6	▲27%	527.2	▲393.6	▲43%
業務その他部門	107.5	63.2	▲41%	42.5	▲65.0	▲60%
家庭部門	94.4	53.9	▲43%	27.9	▲66.4	▲70%
運輸部門	198.5	161.5	▲19%	99.1	▲99.4	▲50%
廃棄物分野(一般廃棄物)	7.3	8.3	15%	7.9	0.6	9%
小 計	1,328.4	956.6	▲28%	704.6	▲623.8	▲47%
森林吸収量	▲27.7	▲24.3	▲12%	▲24.3	3.4	▲12%
合 計	1,300.7	932.2	▲28%	680.3	▲620.4	▲48%

※再生可能エネルギー導入量を含んだ温室効果ガス排出量として推計しています。

※四捨五入の関係で、合計値・割合は整合しない場合があります。



再生可能エネルギー導入目標


2030年度
までに

444TJ導入

※2021年度比1.2倍

2050年度
までに

585TJ導入

※2021年度比1.5倍

再生可能エネルギー導入目標は、2030年度までに、2021年度の380TJから64TJ導入し444TJとします。

たつの市のめざす将来像

2050年カーボンニュートラルの達成に向けて、市民・事業者・市（行政）・多様な利害関係者とともに連携・協力しながら取り組む必要があります。また、脱炭素社会の実現と地域課題の同時解決を目指し、環境、経済、社会分野（SDGsの概念）での脱炭素化を進めていきます。

2050年カーボンニュートラルが達成した場合のまちのイメージは、以下に示すような「まち」となっています。



市民や事業者は「デコ活※1」の取組が定着し、脱炭素型ライフスタイルやビジネススタイルの暮らしをしています。

買い物や通勤、レジャーにはEVで出かけ、必要に応じて電力を使用機器に供給しています。

地元で採れたものを食べる「食」の地産地消により、輸送に係るCO₂排出抑制につながっています。

住宅や事業所の建物は省エネ性能の高いZEH・ZEB※2が標準化され、健康に豊かに暮らしています。

市内でエネルギーを創り市内で消費することにより、エネルギーが地産地消されています。

住宅や事業所の屋根には、景観に配慮した太陽光パネルが設置され、再エネ電力が使われています。

（※1）デコ活：政府が推進する「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」で、二酸化炭素を減らす脱炭素（Decarbonization）と環境に良いエコ（Eco）を組み合わせた"デコ"な活動・生活を意味する新しい言葉です。

（※2）ZEH・ZEB：快適な室内環境を実現しながら省エネ性能の向上と再生可能エネルギーの活用により、建物で消費する年間のエネルギー収支をゼロにすることをめざした住宅（ZEH）・建物（ZEB）です。

基本目標と基本施策

計画目標の達成に向けて、「第2次たつの市環境基本計画」に掲げる環境目標「豊かな自然を未来へつなぐ潤いあふれる快適なまち たつの」を掲げ、その中でも「地球環境分野 ゼロカーボンシティの実現」、「循環型社会分野 循環型社会の形成」に基づき、本計画では次の5つの基本目標を設定します。



豊かな自然を未来へつなぐ
潤いあふれる 快適なまち
たつの

基本目標

基本施策

重点
対策

基本目標1

再生可能エネルギーの
導入促進

- ① 公共施設へ積極的な太陽光発電設備や蓄電池の導入促進
- ② 住宅・事業所等への太陽光発電設備や蓄電池の導入促進

重点
対策

基本目標2

省エネルギーの推進

- ① 環境にやさしいライフスタイル・ビジネススタイルの推進
- ② 住宅・事業所等の建物における省エネルギー化の推進

重点
対策

基本目標3

脱炭素交通の推進

- ① エコドライブの推進、電動車の導入促進
- ② 公共交通機関の利用促進



基本目標4

資源循環のまちづくり

- ① ごみの5R推進強化
- ② エネルギーの地産地消



基本目標5

地球温暖化対策の
基盤整備

- ① 地球温暖化対策に関する「知る」「理解する」「行動する」の機会創出
- ② 地球温暖化対策に関する連携・協働の推進
- ③ 森林・海洋資源によるCO₂吸収源確保

基本目標1

再生可能エネルギーの導入促進

重点
対策

※主体別取組施策から抜粋

具体的な取組施策	市民	事業者
■太陽光発電設備や太陽熱利用設備など再生可能エネルギーに関する情報を収集し、理解を深めましょう。	●	●
■太陽光発電設備や太陽熱利用設備を設置する際には、地域環境と調和に十分配慮しましょう。		●
■住宅・事務所の建替えや新築時には、太陽光発電設備や太陽熱利用設備の導入を検討しましょう。	●	●
■太陽光発電設備を導入する際には、PPAモデル事業やリース事業についても検討しましょう。	●	●
■暖房器具として、ペレットストーブや薪ストーブ等がありますが、それらの木質バイオマスエネルギーを活用した設備の導入を検討しましょう。	●	●
■遊休農地や経営農地へ、周辺環境と調和に配慮した太陽光発電設備等の導入を検討し、AIなどを活用したスマート農業への転換を検討しましょう。		●
■再生可能エネルギー由来の電力の購入を検討しましょう。	●	●

基本目標2

省エネルギーの推進

重点
対策

※主体別取組施策から抜粋

具体的な取組施策	市民	事業者
■持続可能な脱炭素経営を図りましょう。		●
■エネルギーの見える化に取り組みましょう。	●	●
■国民運動「デコ活」に参画し、積極的に取り組みましょう。	●	●
■住宅等の「うちエコ診断」※1、工場・事業場等の「省エネ最適化診断」※2を受診しましょう。	●	●
■ISO14001※3やエコアクション21※4などの環境マネジメントシステムの導入を検討しましょう。		●
■家庭のLED照明やトップランナー制度※5の高効率給湯器・燃料電池などの家電製品を購入しましょう。	●	
■工場・事業場へLED照明や高効率空調・給湯、コージェネレーションシステム等の導入や燃料転換を検討しましょう。		●
■HEMS（ヘムス）BEMS（ベムス）FEMS（フェムス）※6の導入を検討しましょう。	●	●
■工場・事業場の省エネを検討する際にはESCO事業※7を検討しましょう。		●
■住宅や事業所の窓へ断熱フィルムを貼るなどして断熱性能を高めましょう。	●	●

（※1）うちエコ診断：住宅のどこからどれだけ二酸化炭素が出ているかを分析し平均的な家庭と比較することで家のエコロジー度を判定する診断です。

（※2）省エネ最適化診断：省エネ診断と再エネ提案によってエネルギー利用を最適化するサービスです。

（※3）ISO14001：国際標準化機構（ISO）制定した環境マネジメントシステムの国際規格です。

（※4）エコアクション21：ISO14001規格をベースに中小事業者でも取り組みやすい環境経営システムのあり方をとりまとめたガイドラインです。

（※5）トップランナー制度：「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」で規定する特定機器を対象に、省エネルギー基準を設定する制度です。

（※6）HEMS・BEMS・FEMS：家（Home）・建物（Building）・工場（Factory）の室内環境とエネルギー性能の最適化を図るエネルギー管理システムです。

（※7）ESCO事業：省エネルギー化の改修費用を光熱水費の削減分で賄う事業で、省エネルギー診断、設計・施工、運転・維持管理、資金調達等にかかるすべてのサービスをESCO事業者が提供します。

基本目標3

脱炭素交通の推進

重点
対策

※主体別取組施策から抜粋

具体的な取組施策	市民	事業者
■「エコドライブ10」を実践しましょう。	●	●
■自動車を買うい換える際には、電動車を選択しましょう。	●	●
■宅配便の1回での受け取り、または宅配ボックスでの受け取りなどによる再配達の防止に努めましょう。	●	●
■積極的に公共交通機関を利用しましょう。	●	●
■近距離の移動は、徒歩か自転車を活用しましょう。	●	●

基本目標4

資源循環のまちづくり

※主体別取組施策から抜粋

具体的な取組施策	市民	事業者
■マイバッグを持参してレジ袋の受け取りを辞退しましょう。	●	●
■使い捨て商品なるべく買い過ぎない、作り過ぎないようにしましょう。	●	●
■水切りを徹底するとともに野菜くずや食べ残しはできる限り堆肥化しましょう。	●	●
■フリーマーケットの利用、レンタルショップ・リサイクルショップの利用、家庭不用品交換事業、家庭不用品譲渡会を利用しましょう。	●	
■物を大切に、修理できるものは修理して長く使用しましょう。	●	●
■エコ商品、再生品（トイレットペーパー、再生紙等）、リサイクルしやすい商品を積極的に使用しましょう。	●	●
■ごみ分別表に基づく分別収集へ協力するとともに、資源ごみは徹底して分別し、リサイクルルートに乗せましょう。	●	
■リサイクルしやすい商品の開発や製造を行うとともに、リサイクルされた部品を自社の商品に積極的に活用しましょう。		●

基本目標5

地球温暖化対策の基盤整備

※主体別取組施策から抜粋

具体的な取組施策	市民	事業者
■地球温暖化問題に関するイベントや出前講座等に積極的に参加し、環境学習に取り組みましょう。	●	●
■地域で取り組まれている環境保全活動に関する情報を収集し、関心のある活動に積極的に参加しましょう。	●	●
■敷地内をはじめ、屋上や壁面等の緑化（グリーンカーテン）に取り組みましょう。	●	●

できることから始める

脱炭素につながる新しい豊かな暮らし



デコ活に取り組もう！

環境省「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの10年後」より

取組内容	CO ₂ 削減効果 (kg-CO ₂)	節約額(年間)
ZEH住宅の購入(省エネ住宅を購入)	2,551	152,000円
太陽光発電設備の設置	920	53,000円
省エネ性能の高い住宅への引っ越し	1,131	94,000円
高効率給湯器の導入	70~526	6,000~35,000円
断熱リフォーム(窓・サッシなど)	1,131	94,000円
節水(節水シャワー・節水型トイレなど)	105	16,000円
LED等高効率照明の導入	27(2台交換)	3,000円
クールビズ・ウォームビズ	41	4,000円
冷蔵庫の買い替え	108	11,000円
エアコンの買い替え	70	7,000円
HEMSやIoT ^{※1} 家電の活用	88	9,000円
電力排出係数の改善(環境によい電気を選ぶ)	777	—
電動車を選択	610	75,000円
自動車を保有する代わりにカーシェアを利用	491	149,000円
テレワークにより、通勤に伴う移動を削減する	840	61,000円
エコドライブの実施	117	9,000円
近距離通勤は自転車・徒歩通勤	162	12,000円
買いすぎの防止等により、家庭からの食品ロスを削減する	5	9,000円
マイボトル、マイバッグの利用、分別などにより容器包装プラスチック等のごみを削減する	29	4,000円

(※1) IoT: Internet of Thingsの略で「モノのインターネット」を意味します。従来インターネットに接続されていなかった様々なものが、インターネットに接続され、相互に情報交換する仕組みのことをいいます。

デコ活は、政府が推進する「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」で、二酸化炭素を減らす脱炭素(Decarbonization)と環境に良いエコ(Eco)を組み合わせた"デコ"な活動・生活を意味する新しい言葉です。

環境に配慮した生活を送ることは地球にやさしいだけでなく、家計の節約にもつながります。まずは一人ひとりができることから始めてみましょう。

たつの市地球温暖化対策実行計画
(区域施策編) 概要版
2025年3月

〒679-4192
たつの市龍野町富永 1005-1 たつの市市民生活部環境課
【TEL】0791-64-3150
【E-mail】kankyo@city.tatsuno.lg.jp

(一社)地域循環共生社会連携協会から交付された環境省 補助事業である令和5年度(補正予算)二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(地域脱炭素実現に向けた再エネの最大限導入のための計画づくり支援事業)により作成された